

2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月30日

上場会社名 株式会社エクセディ 上場取引所 東
 コード番号 7278 URL <https://www.exedy.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 徹也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 豊原 浩 TEL 072-822-1152
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	213,335	12.8	8,684	△31.3	10,205	△22.8	7,331	△22.4	6,884	△19.1	10,087	△18.6
2022年3月期第3四半期	189,067	17.2	12,642	60.3	13,215	83.7	9,448	103.7	8,511	109.6	12,394	119.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	146.64	-
2022年3月期第3四半期	181.41	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	328,437	240,338	226,486	69.0
2022年3月期	332,785	236,023	221,756	66.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	40.00	-	50.00	90.00
2023年3月期	-	45.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	45.00	90.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	14.9	9,000	△50.9	11,000	△43.5	7,500	△39.9	159.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細については、[添付資料] P. 10「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	48,593,736株	2022年3月期	48,593,736株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	1,639,537株	2022年3月期	1,665,564株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	46,942,795株	2022年3月期3Q	46,918,228株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式（2023年3月期3Q89,800株、2022年3月期100,000株）を期末自己株式数に含めております。

また「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期3Q94,880株、2022年3月期3Q15,690株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、中国でのロックダウンや半導体不足による得意先の減産に伴い受注は減少したものの、円安が進行したことに伴う為替換算影響などにより、売上収益は増加しました。利益面におきましては、受注の減少及び世界的な原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱などの影響をうけ、営業利益は減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益 2,133億円（前年同期比 12.8%増）、営業利益 87億円（前年同期比 31.3%減）、税引前四半期利益 102億円（前年同期比 22.8%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益 69億円（前年同期比 19.1%減）となりました。

①セグメント情報

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

〔MT（手動変速装置関連事業）〕

売上収益は 532億円（前年同期比 13.5%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰はあるものの、売価への転嫁を進めたことにより、63億円（前年同期比 12.3%増）となりました。

〔AT（自動変速装置関連事業）〕

売上収益は 1,358億円（前年同期比 11.5%増）となりました。セグメント利益は、円安が進行したことに伴う為替換算影響により売上の増加はあるものの、中国でのロックダウンや半導体不足による得意先の減産に伴う受注の減少及び原材料価格の高騰などにより、10億円（前年同期比 81.1%減）となりました。

〔その他〕

売上収益は 243億円（前年同期比 19.5%増）となりました。セグメント利益は、売上の増加などにより 18億円（前年同期比 12.2%増）となりました。

②所在地別の情報

所在地別の概況は下記のとおりであります。

〔日本〕

売上収益は 918億円（前年同期比 4.7%増）となりました。営業利益は、中国でのロックダウンや半導体不足による得意先の減産に伴う受注の減少及び原材料価格の高騰などにより、48億円（前年同期比 37.2%減）となりました。

〔米州〕

売上収益は 371億円（前年同期比 22.4%増）となりました。円安が進行したことに伴う為替換算影響により売上の増加はあるものの、原材料価格の高騰などにより営業損失は 9億円（前年同期は 6億円の営業損失）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

売上収益は 781億円（前年同期比 19.2%増）となりました。営業利益は、円安が進行したことに伴う為替換算影響により売上の増加はあるものの、中国でのロックダウンや半導体不足による得意先の減産に伴う受注の減少及び原材料価格の高騰などにより 53億円（前年同期比 13.2%減）となりました。

〔その他〕

売上収益は 64億円（前年同期比 13.5%増）となりました。営業利益は、円安が進行したことに伴う為替換算影響により売上の増加はあるものの、原材料価格の高騰などにより 3億円（前年同期比 37.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、資産合計は 3,284億円（前連結会計年度末は 3,328億円）となり、前期末比 43億円（1.3%）減少しました。主な内容は、有形固定資産の減少 53億円、現金及び現金同等物の減少 50億円、営業債権及びその他の債権の減少 28億円、その他の金融資産の増加 34億円、棚卸資産の増加 44億円です。

負債合計は 881億円（前連結会計年度末は 968億円）となり、前期末比 87億円（9.0%）減少しました。主な内容は、借入金の返済に伴う社債及び借入金の減少 44億円、未払法人所得税の減少 34億円、営業債務及びその他の債務の減少 10億円です。

資本合計につきましては 2,403億円（前連結会計年度末は 2,360億円）となり、前期末比 43億円（1.8%）増加しました。内訳としては、為替が円安に推移し在外営業活動体の換算差額が増加したことなどによるその他の資本の構成要素の増加 19億円、利益剰余金の増加 28億円（親会社の所有者に帰属する四半期利益による増加 69億円、剰余金の処分（配当金）による減少 45億円、投資有価証券の売却に伴うその他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 3億円）です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月31日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,407	50,388
営業債権及びその他の債権	53,824	51,012
その他の金融資産	1,974	5,268
棚卸資産	41,726	46,172
その他の流動資産	2,262	3,641
流動資産合計	155,192	156,481
非流動資産		
有形固定資産	162,964	157,670
のれん及び無形資産	2,802	2,554
持分法で会計処理されている投資	195	248
資本性金融商品に対する投資	3,305	2,740
その他の金融資産	45	102
繰延税金資産	6,022	6,285
退職給付に係る資産	1,233	1,241
その他の非流動資産	1,027	1,116
非流動資産合計	177,593	171,955
資産合計	332,785	328,437

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	10,381	8,201
営業債務及びその他の債務	36,093	35,044
その他の金融負債	594	567
未払法人所得税	4,005	590
短期従業員給付	1,954	2,003
引当金	2,240	2,264
その他の流動負債	3,636	3,579
流動負債合計	58,903	52,247
非流動負債		
社債及び借入金	27,533	25,277
その他の金融負債	879	1,051
退職給付に係る負債	6,724	6,802
繰延税金負債	1,245	984
その他の非流動負債	1,479	1,738
非流動負債合計	37,859	35,852
負債合計	96,762	88,099
資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,555	7,534
自己株式	△3,768	△3,709
その他の資本の構成要素	7,524	9,463
利益剰余金	202,160	204,915
親会社の所有者に帰属する持分合計	221,756	226,486
非支配持分	14,267	13,852
資本合計	236,023	240,338
負債及び資本合計	332,785	328,437

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益	189,067	213,335
売上原価	155,019	181,131
売上総利益	34,048	32,205
販売費及び一般管理費	22,575	24,662
その他の収益	1,542	2,065
その他の費用	373	923
営業利益	12,642	8,684
金融収益	1,273	2,188
金融費用	720	725
持分法による投資利益	19	58
税引前四半期利益	13,215	10,205
法人所得税費用	3,767	2,874
四半期利益	9,448	7,331
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,511	6,884
非支配持分	937	447
四半期利益	9,448	7,331
1株当たり四半期利益		
基本的小および希薄化後(円)	181.41	146.64

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	9,448	7,331
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融資産	11	△87
純損益に振り替えられることのない項目合計	11	△87
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,933	2,843
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	2	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,935	2,844
その他の包括利益合計	2,946	2,756
四半期包括利益	12,394	10,087
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,431	9,152
非支配持分	962	935
四半期包括利益	12,394	10,087

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金		自己株式	その他の資本の構成要素		合計
	資本剰余金	資本剰余金		在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する資本性 金融商品	
	百万円	百万円		百万円	百万円	
2021年4月1日時点の残高	8,284	7,571	△3,822	△1,271	287	△984
四半期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	2,909	11	2,920
四半期包括利益合計	-	-	-	2,909	11	2,920
自己株式の取得	-	-	△1	-	-	-
自己株式の処分	-	△16	56	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	△7	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	△23	55	-	-	-
当期増減額	-	△23	55	2,909	11	2,920
2021年12月31日時点の残高	8,284	7,548	△3,767	1,638	298	1,936

親会社の所有者に帰属する持分

	利益剰余金		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
	百万円	百万円		
2021年4月1日時点の残高	192,878	203,927	12,803	216,730
四半期利益	8,511	8,511	937	9,448
その他の包括利益	-	2,920	26	2,946
四半期包括利益合計	8,511	11,431	962	12,394
自己株式の取得	-	△1	-	△1
自己株式の処分	-	40	-	40
剰余金の配当	△3,284	△3,284	△816	△4,100
株式に基づく報酬取引	-	△7	-	△7
利益剰余金への振替	-	-	-	-
所有者との取引額合計	△3,284	△3,252	△816	△4,067
当期増減額	5,227	8,180	147	8,326
2021年12月31日時点の残高	198,106	212,107	12,950	225,057

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計
				在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する資本性 金融商品	
				百万円	百万円	
2022年4月1日時点の残高	8,284	7,555	△3,768	7,274	250	7,524
四半期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	2,355	△87	2,268
四半期包括利益合計	-	-	-	2,355	△87	2,268
自己株式の取得	-	-	△0	-	-	-
自己株式の処分	-	△15	59	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	△7	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	△329	△329
所有者との取引額合計	-	△22	59	-	△329	△329
当期増減額	-	△22	59	2,355	△417	1,939
2022年12月31日時点の残高	8,284	7,534	△3,709	9,629	△167	9,463

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
	百万円	百万円		
2022年4月1日時点の残高	202,160	221,756	14,267	236,023
四半期利益	6,884	6,884	447	7,331
その他の包括利益	-	2,268	488	2,756
四半期包括利益合計	6,884	9,152	935	10,087
自己株式の取得	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	44	-	44
剰余金の配当	△4,459	△4,459	△1,350	△5,809
株式に基づく報酬取引	-	△7	-	△7
利益剰余金への振替	329	-	-	-
所有者との取引額合計	△4,130	△4,422	△1,350	△5,772
当期増減額	2,754	4,730	△415	4,315
2022年12月31日時点の残高	204,915	226,486	13,852	240,338

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品製造販売を主たる事業としております。更に、製品機能、技術仕様及び生産構造の違いにより「手動変速装置」「自動変速装置」の2つに大別し、本社を中心にグループ内部で連携をとりながら取扱製品について国内及び海外における戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、マニュアルクラッチを生産する「MT（自動車用手動変速装置関連事業）」、自動変速装置・同部品を生産する「AT（自動車用自動変速装置関連事業）」の2つを報告セグメントとしております。

(2) セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注4)	連結
	MT	AT	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	46,866	121,838	168,705	20,362	-	189,067
セグメント間の内部売上収益(注2)	234	1,837	2,070	5,112	△7,182	-
計	47,100	123,675	170,775	25,474	△7,182	189,067
セグメント利益(注3)	5,634	5,436	11,071	1,565	7	12,642
金融収益						1,273
金融費用						720
持分法による投資利益						19
税引前四半期利益						13,215

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

(注2) セグメント間の内部取引における価額は、市場実勢価格に基づいております。

(注3) 報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益を基礎とする数値であります。

(注4) 調整額には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注4)	連結
	MT	AT	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	53,204	135,799	189,003	24,332	-	213,335
セグメント間の内部売上収益(注2)	230	445	675	4,135	△4,810	-
計	53,435	136,243	189,678	28,467	△4,810	213,335
セグメント利益(注3)	6,329	1,028	7,356	1,756	△428	8,684
金融収益						2,188
金融費用						725
持分法による投資利益						58
税引前四半期利益						10,205

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

(注2) セグメント間の内部取引における価額は、市場実勢価格に基づいております。

(注3) 報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益を基礎とする数値であります。

(注4) 調整額には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。